

【法的根拠】
日本国憲法、教育関係諸法規
教育基本法、その他関係法規、準
則等、関係教育委員会の方針・目標
等、学校教育法、学習指導要領

学校の教育目標
◎よく考える子
○進んで働く子
○思いやりのある子
○体力のある子

【地域の実情】結束力が強く、学校
へ期待は大きい。
【学校の実情】地域とのつながりが
深く、人材を活用しながら連携を深
めている。
【子供の実態】明るく素直である。
【教師の願い】自他の生命を尊び、
自主的に行動できる子。
【保護者の願い】最後までがんばる
子。

本校の道徳教育の重点目標
道徳性をはぐみ、豊かな心をもち未来を拓く子ものたちの育成

道徳教育の重点目標

基本的生活習慣や社会性を
身につけ、「聴いて」「考えて」
「動く」ことのできる児童の育成

思いやりの心を持ち、協力し助
け合う児童育成

生命を大切にし、健康で安全
な生活のできる児童の育成

各教科

国語
思考力や想像力、伝え合う力を高
め作品を通して豊かな心情を養う。

社会
社会生活の理解を図り、国や郷土
の自然や歴史を大切にしている心情を

算数
算数的活動の楽しさや数値処理
のよさに気づき、進んで生活
や学習に活用しようとする態度
を育てる。

理科
自然に親しみ、自然や動物を

生活
具体的な活動や体験を通して、自
立への基礎を養う。

音楽
音楽を愛する心情と感性を育
て、豊かな情操を養う。

図画工作
造形的な創造活動の基礎的
能力を培い、豊かな情操を
養う。

家庭
家庭生活を大切にしている心情を育み、
生活をより良くしようとする実践的
な態度を育てる。

体育
健康増進と体力の向上を図り楽し
く明るい生活を営む態度を育てる。

道徳の時間

各学年の重点目標

低学年

○約束やきまりを守って、よく考えて行動す
る。
○友達と仲良くし、助け合う。
○生命あるものを大切にする。

中学年

○約束やきまりを守り、公共心、公德心をも
ってよく考えて行動する。
○相手のことを思いやり、協力することがで
きる。
○生命の尊さを知り、命あるものを大切に
する。

高学年

○きまりを守り、公德心を持ち、公正・公平
な心でよく考えて行動する。
○誰に対しても思いやりの心を持ち、協力

指導方針

道徳の時間の年間指導計画に基づき、
学級の児童の道徳的判断力を高め、道徳
的心情を豊かにし、道徳的態度と実践意
欲の向上を図ることによって道徳実践力
を育てる。

指導の工夫

・全教育活動を通して、心のノートや副読
本を意図的に活用することにより、道徳教
育の充実を図る。
・学校・家庭・地域との連携を深め、子ども
の道徳性を育む。
・魅力的な教材や体験活動を開発する。
・発達段階に応じて、心の揺れや葛藤する
場面を取り入れ、考えを深めさせる。

外国語活動

外国の言語や文化への
理解を深め、積極的にコ
ミュニケーションを図ら
うとする態度を育てる。

総合的な学習の時間

自ら課題を見つけ学び、自
ら考え主体的に判断し、よ
りよく問題を解決する資質
と能力を育てる。

特別活動

学級や学校のよりよい生活づくりに
参画し、諸問題を解決しようとする
自主的、実践的な態度や健全な生
活態度を育てる。

望ましい人間関係を形成し、協
力して諸問題を解決しようとする
自主的、実践的な態度を育
てる。

豊かな体験を通して所属感や
連帯感、協力等の自主的、実
践的な態度を育てる。

生活指導
基本的な生活習慣を確立させる。
規範意識を高めさせる。
一人一人をよく理解する。

環境整備
より良い言語環境を整え、
心地よい人間関係を築ける
環境を整備する。

家庭・地域との連携
児童の基本的な生活習慣の定着
をめざすと共に、体験の機会を積
み重ね、豊かな心を育てる。

推進体制
確かな学力の向上
さくらんぼ(兄弟)学級
お年玉募金